

なぜ私たちは働くのか
—働く意義・喜びとは—

東京都足立区立花畑中学校

2年2組出張授業資料

2017年10月12日(木)

11:40~12:30

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : なぜ私たちは働くのですか、働く意義は何だと考えますか。

A : 3つあると考えます。

(1)①「お客様のお役に立つため」に、私たちは働くと考えます。

②社会には、同じような問題をもっているお客様がたくさんいらっしゃいます。

③お客様のお役に立つことで、「社会のお役に立つため」に、私たちは働くと考えます。

(2)①「生活できるだけの収入を得るため」に、私たちは働くと考えます。

②せつかく働くのでしたら、「生活できるだけの収入」を目指したく思います。

(3)①働くことで、「自己実現」を図ることで。

②よりよく働く、よりよい仕事を目指すことは、より充実した生活や人生を目指すことにつながります。

③働くことは、自分らしく、よく生きることにつながります。

④働くことで、自分の夢を実現することもできます。

Q 2 : お客様のお役に立つとは、どのようなことですか。具体的にお話ください。

A : (1)①すべての仕事には、「お客様」がいます。

②製品やサービスを提供する、「お客様（顧客）」がいます。

(2)①お客様が製品やサービスを購入するのは、自分の困っていることや、自分一人ではなかなかできない問題を、解決してもらうためだといえます。

②ですから、働く、仕事をするとは、製品やサービスを提供することで、お客様の問題を解決することだといえます。

③お客様の問題を解決できなければ、製品やサービスとはいえません。お客様のお役に立つ、よい仕事をしたとはいえません

(3)①「価格」、値段が買いやすいことも、大切です。

②便利な「場所」で提供されることも、大切です。

③どのような内容かがよくわかる「宣伝・広告」も、大切です。



Q 3 : 働く喜びとは何ですか。

A : (1) お客様の問題を解決することで、お客様のお役に立つこと、社会のお役に立つことです。

(2) 生活できるだけの収入を得ることができることです。

(3) よりよい製品やサービスを提供するために、みんなで、新しいことを学び、創意工夫を繰り返し、また、イノベーションに挑戦することです。

(4) 働くことで、自分の夢を実現することです。

(5) 励まし合う仲間と仕事ができることです。

Q 4 : 仕事をしていて、大変なことは何ですか。

A : (1) 世の中が超スピードで変化し続けているので、お客様に提供すべき製品やサービスも、どんどん変化し続けることです。

(2) 日本だけではなく、世界中に競争相手がいることに加え、新しい競争相手がどんどん出てくるので、グローバルな競争に勝ち抜く能力を身に着け続けなければならないことです。

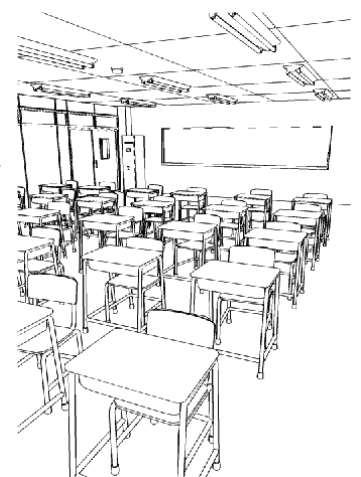
(3) 仕事はチームプレイなので、チームのメンバーが、仕事の上での能力を身に着けること、強力なリーダーが、メンバーとコミュニケーションをとり、リーダーシップを発揮することです。

Q 5 : なぜ私たちは勉強し、体を鍛え、社会に出る準備をして、やがて仕事に就くのですか。

A : (1) 小学校や中学校、高校、大学など、学校で勉強していることを基礎にして、すべての仕事が成り立っているからです。

(2) 読み書きや中学校での勉強が不十分ですと、お客様や社会のお役に立つ仕事をするのは難しいからです。

(3) 仕事をするには、体力や気力も欠かせないからです。



Q 6 : エッ、中学校の勉強は、社会に出て役に立つのですか、仕事をするときに役に立つのですか。

A : (1) 学校での勉強は、社会に出てすべて役に立ちます。仕事をするときにもすべて役に立ちます。例えば、英語とパソコンは、どんな仕事にも欠かせません。

(2) ですから、学校の教科書や教材、ノートは決して捨てないですべて保管し、社会に出て仕事や社会的な活動をするときに、いつも見返し、学び直しをしてください。一生かけて、繰り返し読み直しましょう。

(3) 教科以外の学校での教育活動も、社会に出て仕事をするときにすべて役に立ちます。しっかりやってくださいね。

Q 7 : 社会に出て活躍するには、教科の学習内容以外にどのような準備をすべきですか。

A : (1) 「学び方」を身に着けること。

- ① 社会に出ても、勉強しなければならないことが、どんどんと山ほど出てくるからです。
- ② 「予習」と「復習」の仕方を身に着ける。
- ③ 「音読練習」「書き取り練習」「計算練習」の仕方を身に着ける。

(2) 「読解力」を身に着けること。

- ① 「読書」に励むこと。
 - ・「書き抜き読書ノート」を。
- ② 「新聞」を毎日読むこと。
 - ・「スクラップブック」を。
- ③ 「辞書」を毎日引くこと。
 - ・「意味調べノート」を。



(3) 「5 S」(ごえす)を身に着けること。

- ① 「整理」(seiri) 不要なものを捨てる
- ② 「清掃」(seisou) きれいに掃除をする
- ③ 「整頓」(seiton) ものと同じ場所に置く
- ④ 「清潔」(seiketsu) ①～③を継続する
- ⑤ 「躰」(shitsuke) 自分から進んで行く



(4) 別の意味の「躰(しつけ)」も身に着けること。

- ① 「美しい立居振舞い(たちいふるまい)」
- ② 「敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)」

(5) 「マナー」を身に着けること。

- ① 「靴は、手でそろえる」
- ② 「自分から、元気にあいさつ」
- ③ 「お先にどうぞ、After You(アフター・ユー)」
- ④ 「料理は、みんなの分がそろってから食べる」
- ⑤ 「お礼は、声を出してはっきり述べる」
- ⑥ 「自分が言われて嫌なことは、口にしない。自分がされて嫌なことは、しない」



Q 8 : 最後に一言、好きなことばをご紹介します。

A : (1) 「学問に王道なし」・ユークリッド

(2) 「スポーツの3つの宝」・小泉信三

- ① 「練習は不可能を可能にする」
- ② 「フェアプレイ」
- ③ 「よき友」



(3) 「一生勉強、一生青春」・相田みつを



ご清聴ありがとうございました。感謝いたします。

ご質問、ご意見あれば、ご自由にご発言ください。

